

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和6年9月4日

事業実施地区	南堀地区
事業名	防災食の整備
団体名及び 代表者名	(団体名) 南堀区 (代表者名) 区長 槇納靖昌 (連絡先) XXXXXXXXXX

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

災害時の防災食が整備されていなく、今後、南堀区として災害時の防災食を準備し、緊急を要する事態が発生した場合に使用ができる体制にしておく。	【事業完了日】 令和6年9月4日 【総事業費】 61,362円 【補助金額】 61,000円
--	--

※活動状況のわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

災害時一時的でも食料の提供が可能になる。定期的に見直し、追加を行うことにより区民への安心感および非常事態発生時の食料として提供が可能になる。また防災食準備については回覧にて区民への広報を実施済み。
--

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		○		
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	区の回覧にて防災食配置を広報し区民への周知を実施。			

■今後の取組予定

公民館に保管し、災害時に備える。 次年度以降の防災訓練で他の防災用品とともに区民に紹介する。

防災食（160食分）



支所発地域力向上支援金 事業評価(朝陽支所)

令和6年9月4日

事業名	防災食の整備
-----	--------

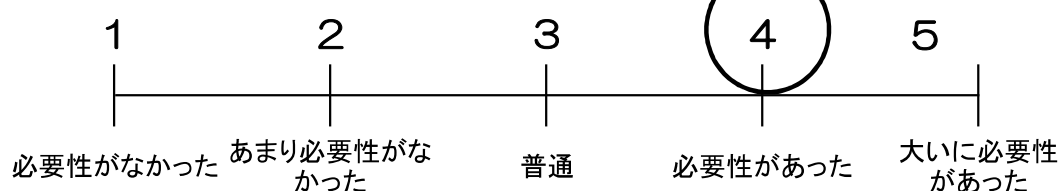
団体名	南堀区
-----	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

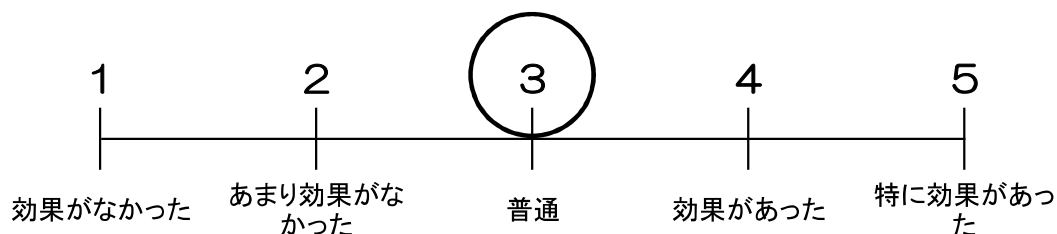
事業区分

安全安心活動

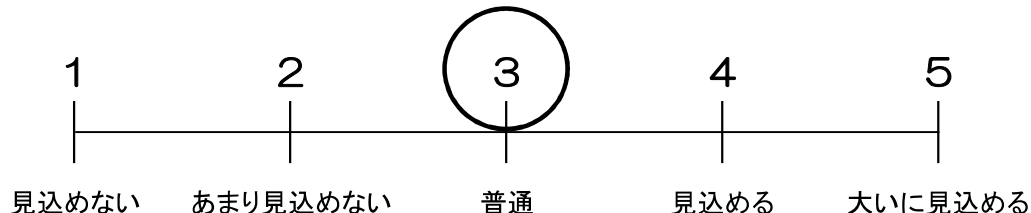
必要性



効果



将来性



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)

災害時用のレトルト食品を整備したものである。賞味期限が約6年あり、長期の保存ができる。また、火を必要とせず、水を入れるだけでご飯を作ることができ、ペットボトルの水も一緒に保管していることから、災害時のあらゆる状況において食料の提供ができる。

ただ、災害になるまで実際に作って食べることができず(訓練時にも参加者全員が作って食べるという練習はできない)、「効果」についての評価が難しい。

また、賞味期限までに災害が無ければ使用することはないため、「将来性」の評価も難しい(賞味期限が近付いた時は、防災訓練等において、訓練の一環として作って食べるとのこと)。

しかし、災害時において、食料は大変重要なものとなるため、地域にとって有益な整備であると評価できる。